

## 第8章 大阪市区別(地域別)の経済構造

### 8-1. 区別人口【2021年】

市内人口を区別にみると、北東部（淀川区18.3万人、東淀川区17.6万人）や南東部（平野区19万人）など周辺部の区の人口が多くなっています。前年比で見ると、都心部の北区（14.1万人）、中央区（10.7万人）、浪速区（7.7万人）は人口が増えています。一方、湾岸部（大正区6.1万人、此花区6.5万人）の人口は比較的少なくなっています。

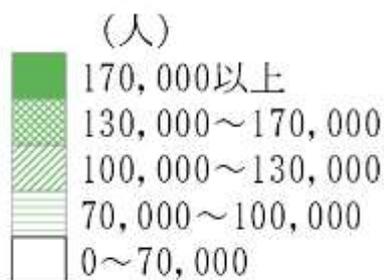
区名	人口(人)
大阪市全体	2,750,835
北区	140,706
都島区	107,838
福島区	79,844
此花区	64,764
中央区	107,004
西区	106,917
港区	79,978
大正区	61,356
天王寺区	83,087
浪速区	76,863
西淀川区	95,572
淀川区	183,450

区名	人口(人)
東淀川区	176,039
東成区	85,175
生野区	126,664
旭区	89,208
城東区	168,762
鶴見区	112,219
阿倍野区	111,296
住之江区	118,732
住吉区	152,472
東住吉区	127,277
平野区	190,166
西成区	105,446

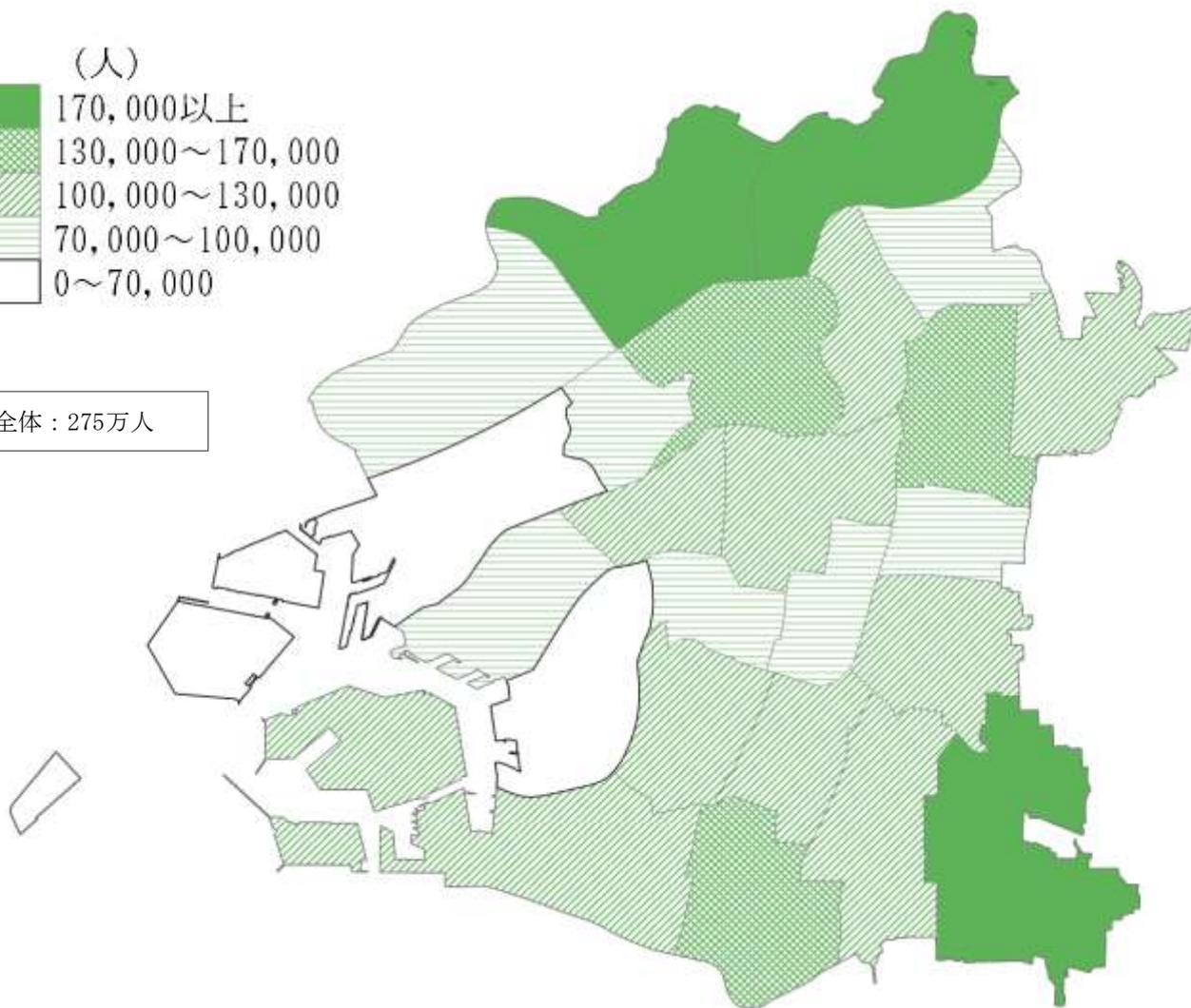
(注)2021年10月1日の数値。

(大阪市「2021年 推計人口・人口異動」)

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



市全体：275万人



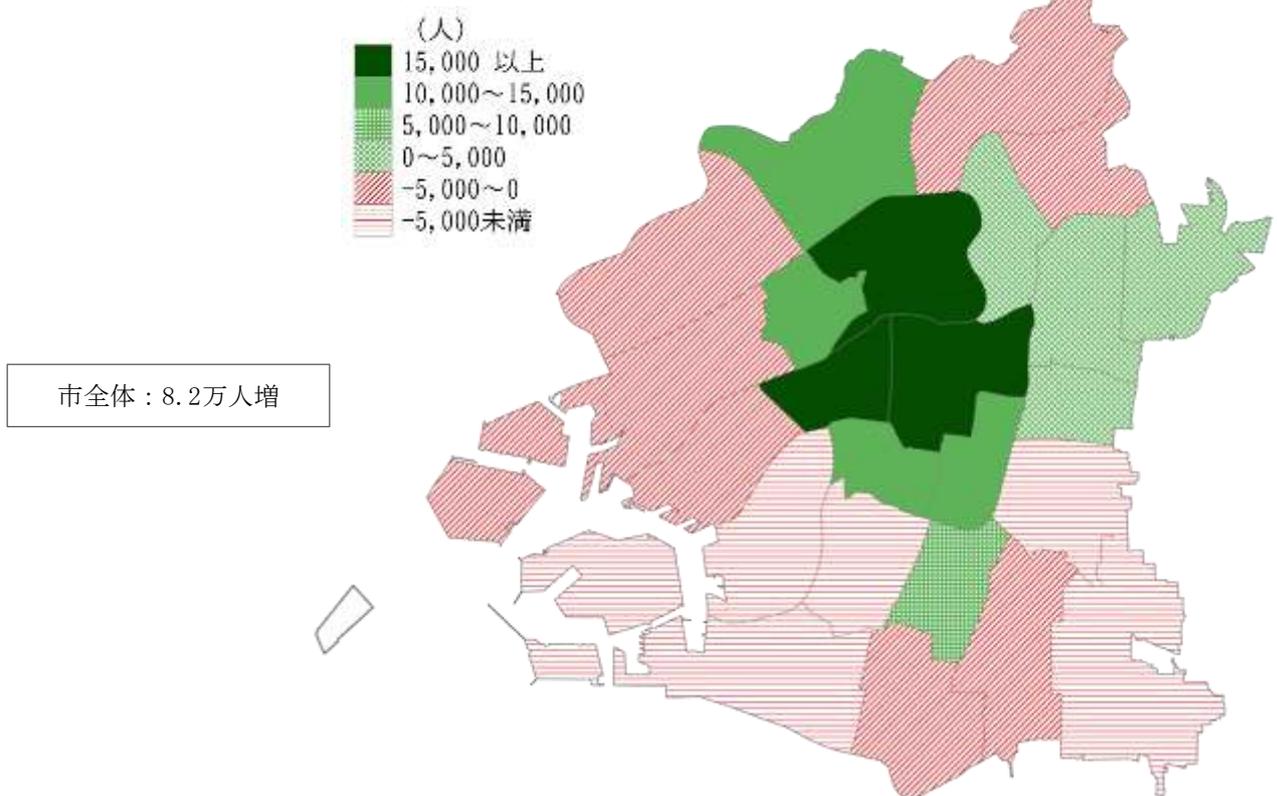
8-2. 区別人口増減

この10年間の市内人口の増減を区別に見ると、中心部の増加が顕著で北区では2.8万人増、中央区では2.6万人増、西区では2.2万人増となっています。中でも中央区の増加率は32.1%で市内最高となっています。また、中心部に隣接する3区(浪速区、天王寺区、福島区)の増加率も浪速区で21.7%、天王寺区で17.3%、福島区15.9%と高い割合となっています。一方、南部を中心に12区で人口は減少しており、西成区、大正区の減少率は10%を超えています。

(単位: 人、%)

区名	2011年	2021年	2011年-2021年	増減率
大阪市全体	2,668,972	2,750,835	81,863	3.1
北区	112,643	140,706	28,063	24.9
都島区	103,190	107,838	4,648	4.5
福島区	68,905	79,844	10,939	15.9
此花区	66,163	64,764	-1,399	-2.1
中央区	81,017	107,004	25,987	32.1
西区	84,663	106,917	22,254	26.3
港区	84,280	79,978	-4,302	-5.1
大正区	68,600	61,356	-7,244	-10.6
天王寺区	70,853	83,087	12,234	17.3
浪速区	63,158	76,863	13,705	21.7
西淀川区	97,314	95,572	-1,742	-1.8
淀川区	172,415	183,450	11,035	6.4
東淀川区	176,719	176,039	-680	-0.4
東成区	80,437	85,175	4,738	5.9
生野区	132,884	126,664	-6,220	-4.7
旭区	92,188	89,208	-2,980	-3.2
城東区	165,266	168,762	3,496	2.1
鶴見区	111,053	112,219	1,166	1.0
阿倍野区	106,283	111,296	5,013	4.7
住之江区	126,421	118,732	-7,689	-6.1
住吉区	155,188	152,472	-2,716	-1.8
東住吉区	129,664	127,277	-2,387	-1.8
平野区	199,482	190,166	-9,316	-4.7
西成区	120,186	105,446	-14,740	-12.3

(注) 各年10月1日の数値。(大阪市「2021年 推計人口・人口異動」「2011年 修正推計人口」)  
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-3. 区別人口密度【2021年】

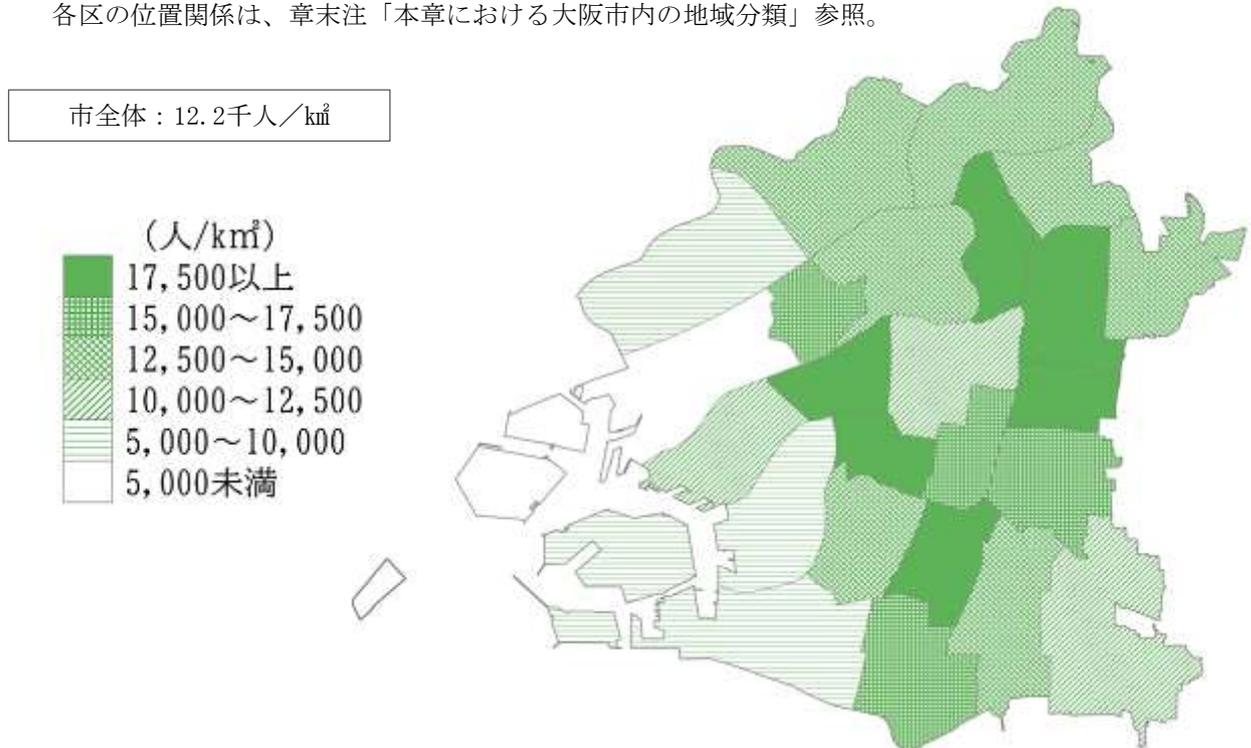
人口密度を区別にみると、都心隣接区の人口密度が高く、1km<sup>2</sup>当りで西区20.5千人、城東区20.1千人、東成区18.8千人、阿倍野区18.6千人となっています。一方、臨海部の人口密度は低く、1km<sup>2</sup>当りで此花区3.4千人、住之江区5.7千人、大正区6.5千人、西淀川区6.7千人となっています。

区名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (1 km <sup>2</sup> 当り)
大阪市全体	2,750,835	225.33	12,208
北区	140,706	10.34	13,608
都島区	107,838	6.08	17,737
福島区	79,844	4.67	17,097
此花区	64,764	19.3	3,356
中央区	107,004	8.87	12,064
西区	106,917	5.21	20,521
港区	79,978	7.86	10,175
大正区	61,356	9.43	6,506
天王寺区	83,087	4.84	17,167
浪速区	76,863	4.39	17,509
西淀川区	95,572	14.21	6,726
淀川区	183,450	12.64	14,513
東淀川区	176,039	13.27	13,266
東成区	85,175	4.54	18,761
生野区	126,664	8.37	15,133
旭区	89,208	6.32	14,115
城東区	168,762	8.38	20,139
鶴見区	112,219	8.17	13,735
阿倍野区	111,296	5.98	18,611
住之江区	118,732	20.68	5,741
住吉区	152,472	9.40	16,220
東住吉区	127,277	9.75	13,054
平野区	190,166	15.28	12,445
西成区	105,446	7.37	14,307

(注)2021年10月1日の数値。

(大阪市「2021年 推計人口・人口異動」)

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-4. 区別昼夜間人口比率【2020年】

就業者が集中する都心部の昼間人口は多く、昼夜間人口比率は中央区は500%超、北区では350%近くとなっています。また、商業・サービス業エリアである西区、天王寺区の昼夜間人口比率は150%を超えています。一方、東部は住宅エリアで昼間人口よりも夜間人口が多く、城東区、鶴見区では84%未満です。

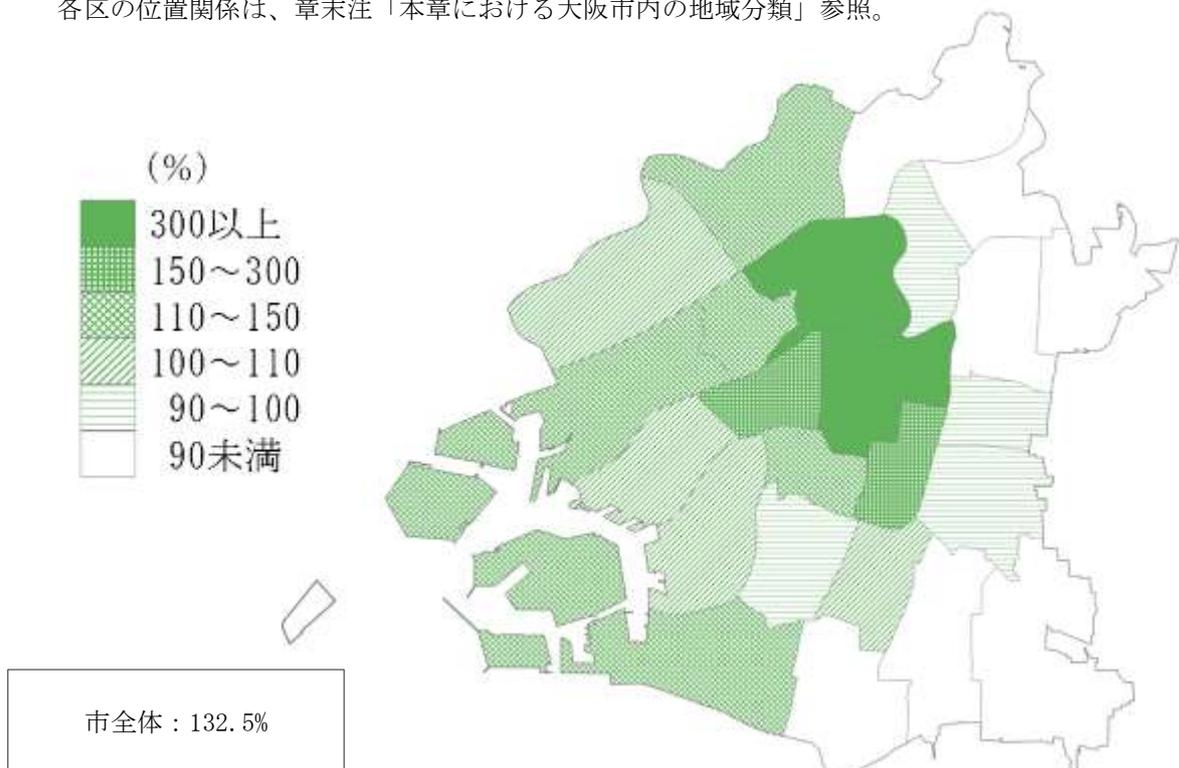
(単位:人、%)

区名	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
大阪市全体	3,645,921	2,752,412	132.5
北区	487,123	139,376	349.5
都島区	99,917	107,904	92.6
福島区	91,393	79,328	115.2
此花区	86,518	65,251	132.6
中央区	535,834	103,726	516.6
西区	190,260	105,862	179.7
港区	83,295	80,948	102.9
大正区	65,287	62,083	105.2
天王寺区	126,423	82,148	153.9
浪速区	103,633	75,504	137.3
西淀川区	99,274	95,864	103.6
淀川区	228,358	183,444	124.5
東淀川区	158,036	177,120	89.2
東成区	76,482	84,906	90.1
生野区	117,253	127,309	92.1
旭区	78,842	89,670	87.9
城東区	141,717	169,043	83.8
鶴見区	94,103	112,691	83.5
阿倍野区	119,223	110,995	107.4
住之江区	144,533	120,072	120.4
住吉区	134,308	153,056	87.8
東住吉区	109,278	127,849	85.5
平野区	170,668	192,152	88.8
西成区	104,163	106,111	98.2

(総務省「2020年国勢調査」)

(注) 昼夜間人口比率=昼間人口/夜間人口。2020年10月1日の数値。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-5. 区別民営事業所数・従業者数【2021年】

事業所数を区別にみると、中央区(3.1万カ所)と北区(2.7万カ所)の合計で、市内の3分の1(5.8万カ所)を占めています。次いで、淀川区(1.2万カ所)、西区(1.1万カ所)が多くなっています。  
 従業者数を区別にみると、中央区(52.3万人)と北区(48.5万人)の合計で市内の4割以上(100万人)を占めています。次いで西区(16.2万人)、淀川区(16.1万人)が多くなっています。

区別の事業所数

(単位:カ所、%)

区名	事業所数	構成比
大阪市	174,163	100.0
北区	26,520	15.2
都島区	4,653	2.7
福島区	4,723	2.7
此花区	2,623	1.5
中央区	31,401	18.0
西区	11,244	6.5
港区	3,686	2.1
大正区	2,958	1.7
天王寺区	5,691	3.3
浪速区	5,141	3.0
西淀川区	3,961	2.3
淀川区	11,783	6.8
東淀川区	5,398	3.1
東成区	4,613	2.6
生野区	6,575	3.8
旭区	3,114	1.8
城東区	5,021	2.9
鶴見区	3,597	2.1
阿倍野区	5,214	3.0
住之江区	4,718	2.7
住吉区	4,777	2.7
東住吉区	5,347	3.1
平野区	7,237	4.2
西成区	4,168	2.4

区別の従業者数

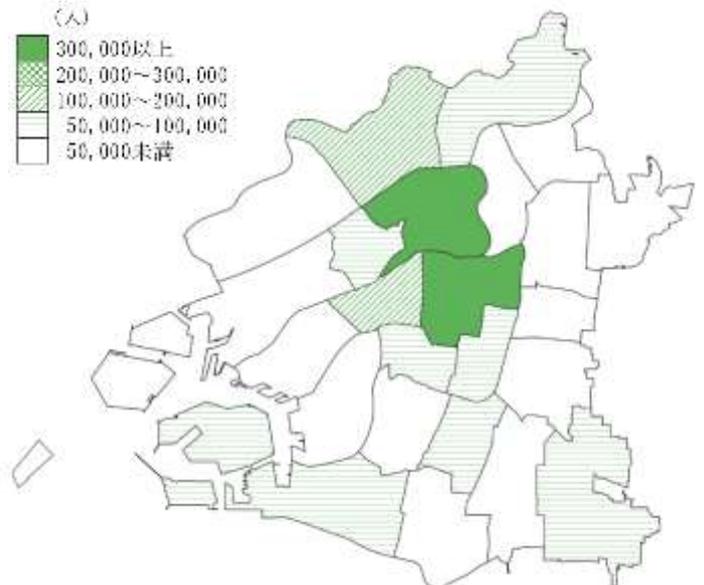
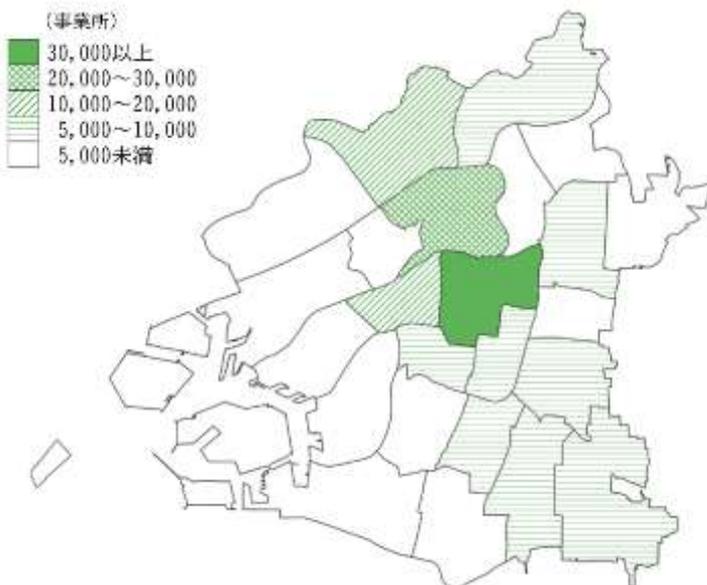
(単位:人、%)

区名	従業者数	構成比
大阪市	2,295,824	100.0
北区	484,717	21.1
都島区	43,574	1.9
福島区	58,563	2.6
此花区	45,386	2.0
中央区	522,807	22.8
西区	162,482	7.1
港区	41,454	1.8
大正区	29,168	1.3
天王寺区	59,726	2.6
浪速区	71,619	3.1
西淀川区	49,494	2.2
淀川区	161,153	7.0
東淀川区	53,121	2.3
東成区	40,211	1.8
生野区	45,512	2.0
旭区	25,238	1.1
城東区	49,710	2.2
鶴見区	37,299	1.6
阿倍野区	55,137	2.4
住之江区	71,941	3.1
住吉区	42,210	1.8
東住吉区	42,727	1.9
平野区	64,516	2.8
西成区	38,059	1.7

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査」速報集計)

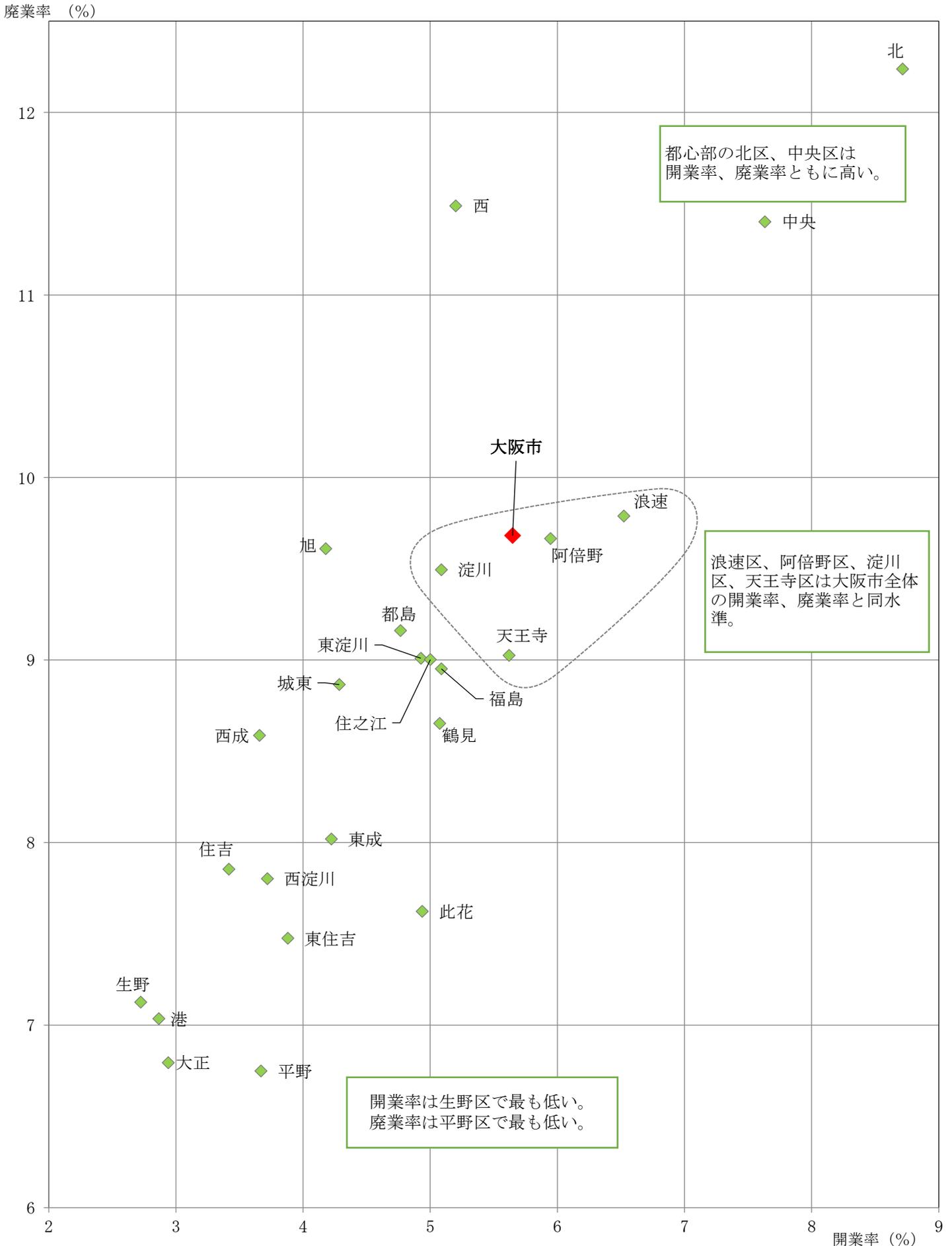
(注)各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

民営事業所には、事業内容等が不詳の事業所は含まれていない。



8-6. 区別事業所の開業率・廃業率

区別の年平均事業所廃業率・開業率(民間) (2014年~2016年)



(注)3-5と同じ。開業率などは全て年平均の値。

(総務省・経済産業省「経済センサス-2014年基礎調査、2016年活動調査」)

8-7. 区内総生産(名目)と産業別内訳【2019年度】

都心部の中央区、北区、西区及び大規模工場が集積する淀川区の4区で市内総生産の7割以上を占めています。区別に主な産業別構成をみると、大正区、西淀川区の2区は区内総生産の5割以上を製造業が占める構成になっている点に特徴があります。

(単位:十億円)

区名	総生産	製造業	卸・小売業	サービス業	その他
大阪市	20,467	1,587	4,688	13,465	727
北区	5,347	114	1,244	3,820	169
都島区	156	16	30	98	11
福島区	427	22	149	242	14
此花区	378	155	37	178	8
中央区	6,842	100	1,637	4,877	228
西区	1,585	40	455	1,009	81
港区	248	32	29	173	14
大正区	193	97	18	70	7
天王寺区	427	25	50	342	10
浪速区	378	23	120	208	26
西淀川区	282	144	49	78	12
淀川区	1,420	245	381	742	51
東淀川区	274	63	49	152	9
東成区	181	52	54	69	5
生野区	153	71	25	54	4
旭区	96	13	17	62	4
城東区	320	47	37	227	9
鶴見区	162	63	31	58	9
阿倍野区	267	9	43	201	15
住之江区	647	87	95	457	8
住吉区	167	7	17	135	7
東住吉区	160	29	48	76	8
平野区	230	90	46	81	12
西成区	126	42	26	54	4

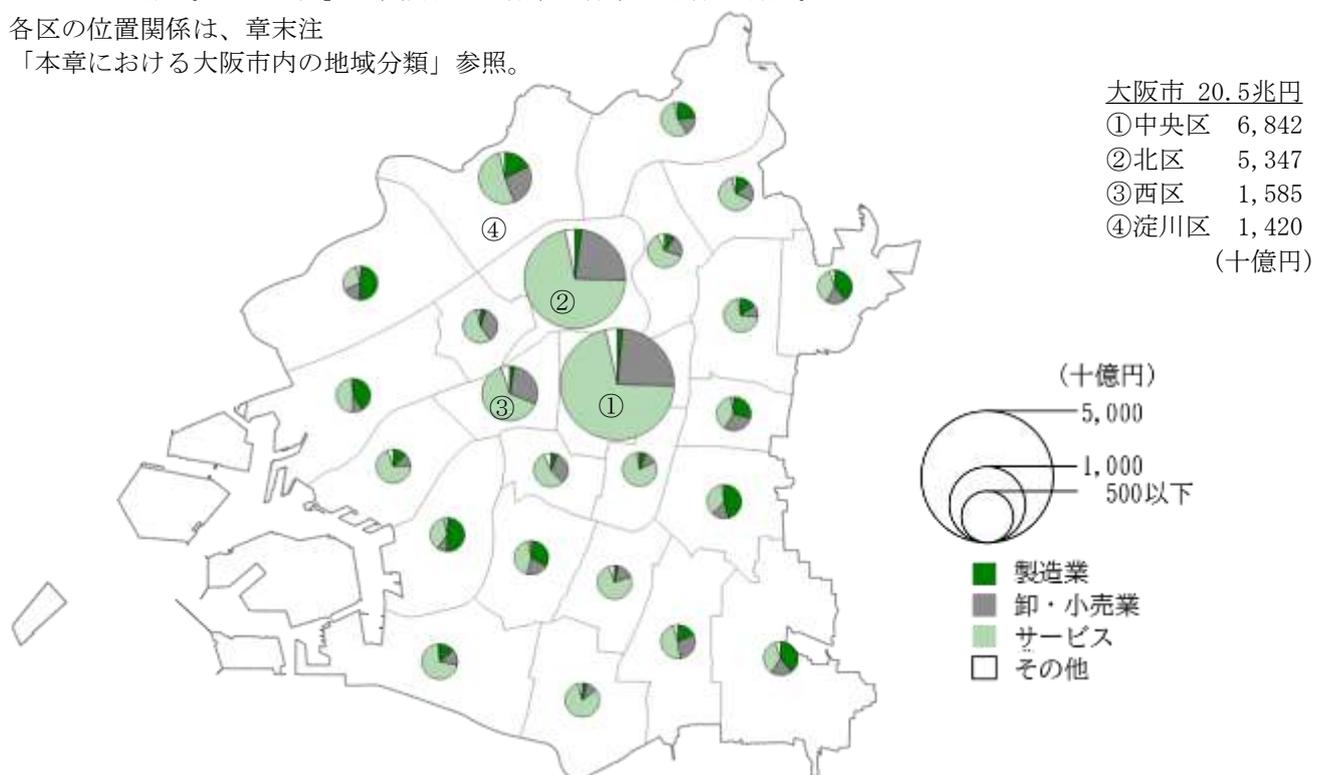
(大阪市「大阪市民経済計算」2019年度、総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」に基づき試算)

(注)公務を含まない“産業”のみの生産額。区別の数値は(株)ダン計画研究所による推計値。

「サービス業」は、電気・ガス・水道・廃棄物処理業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、教育、保健衛生・社会事業、その他のサービスの合計。「その他」は、農林水産業、鉱業、建設業の合計。

各区の位置関係は、章末注

「本章における大阪市内の地域分類」参照。



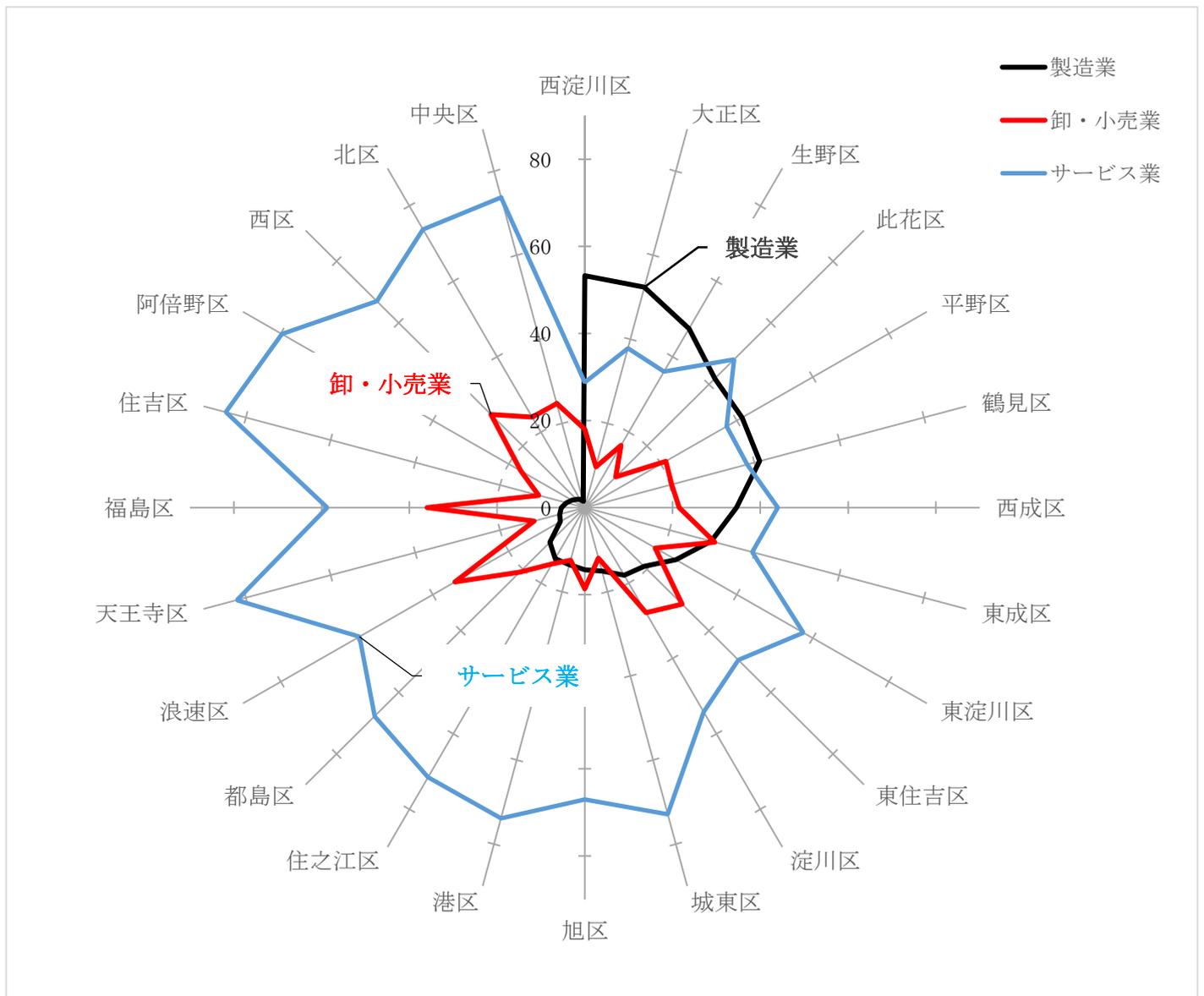
(参考) 区内総生産(名目)の主要産業別構成比

(単位:%)

区名	製造業	卸・小売業	サービス業	区名	製造業	卸・小売業	サービス業
大阪市	8.0	23.7	68.2	旭区	14.3	18.7	67.0
西淀川区	53.3	18.0	28.7	港区	13.6	12.5	73.9
大正区	52.4	9.7	37.9	住之江区	13.5	14.9	71.5
生野区	47.5	16.5	36.0	都島区	11.3	20.9	67.8
此花区	41.9	10.0	48.1	浪速区	6.5	34.2	59.3
平野区	41.4	21.3	37.3	天王寺区	5.9	12.0	82.1
鶴見区	41.2	20.5	38.3	福島区	5.3	36.0	58.7
西成区	34.5	21.5	44.0	住吉区	4.3	10.9	84.7
東成区	29.8	30.7	39.5	阿倍野区	3.4	16.9	79.7
東淀川区	24.0	18.5	57.5	西区	2.7	30.3	67.1
東住吉区	19.1	31.4	49.5	北区	2.2	24.0	73.8
淀川区	17.9	27.9	54.2	中央区	1.5	24.8	73.7
城東区	15.1	12.0	72.9				

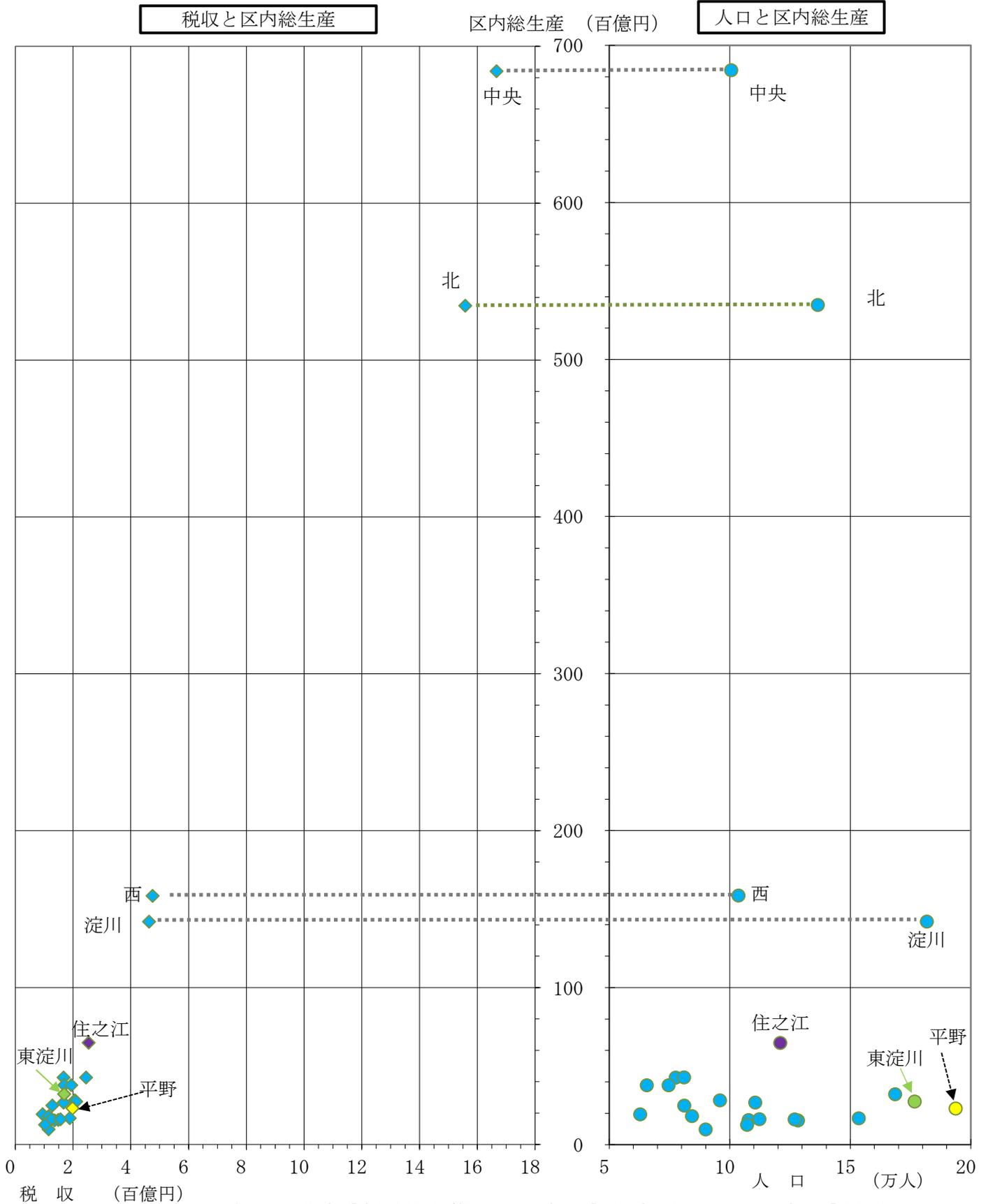
(大阪市「大阪市民経済計算」2019年度、総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」に基づき試算)

(注) 資料ともに8-7と同様。ただし、“その他”の生産額を除いて割合を算出。



8-8. 区内総生産(名目)と税収・人口【2019年度】

区内総生産や税収は、定住人口による消費支出や個人市民税よりも、事業所が生み出す付加価値や法人市民税など経済活動による影響が大きいと考えられます。



資料：大阪市「市民経済計算」2019年度、「大阪市統計書」2019年度、「推計人口」2019年度

(注) 税収は過去の滞納分の徴税を除き、2019年度単独分のみの調定額。

(中央区で一括計上されている「たばこ税」を除く。)

区内総生産は「公務」を含まない「産業」のみの生産額であり、(株)ダン計画研究所による推計。

人口は2019年10月1日の数値。

8-9. 市税決算額と法人分・非法人分の内訳【2019年度】

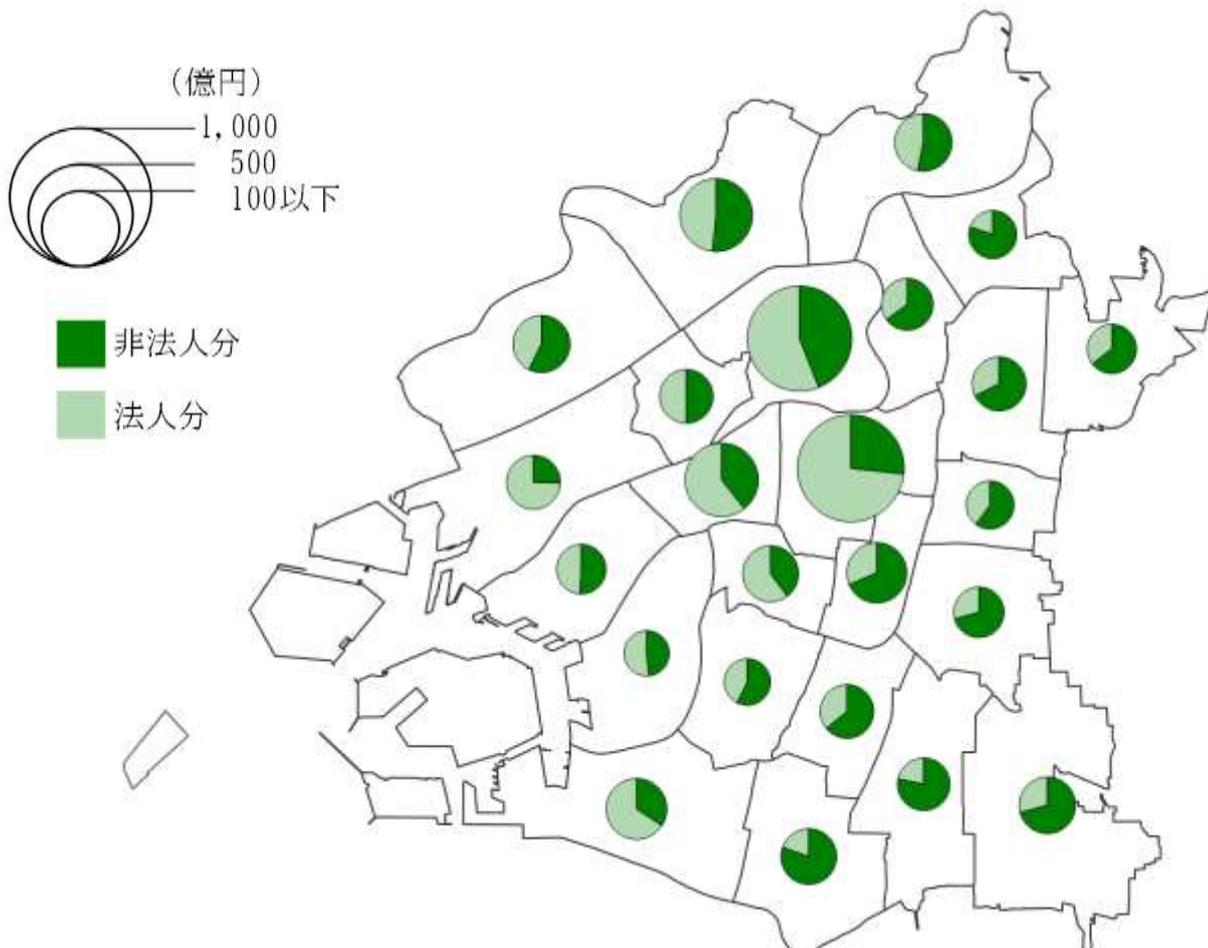
市の税収に占める法人の割合は53.2%となり、区別にみると、法人分の割合が非法人の割合を超える区は、都心部の中央区、北区、西区、浪速区に加えて、此花区や住之江区等の臨海部地域を中心に7区となり昨年度と同数でした。

(単位：億円)

区名	市税決算額	法人分	非法人分	区名	市税決算額	法人分	非法人分
大阪市	7,455	3,969	3,486	東淀川区	211	99	112
北区	1,558	872	685	東成区	115	46	69
都島区	148	52	96	生野区	136	40	96
福島区	167	84	84	旭区	115	23	93
此花区	169	126	43	城東区	170	55	115
中央区	1,666	1,222	444	鶴見区	126	45	82
西区	475	288	187	阿倍野区	167	60	107
港区	128	63	65	住之江区	254	167	87
大正区	95	49	46	住吉区	189	37	151
天王寺区	245	77	168	東住吉区	156	34	122
浪速区	193	117	77	平野区	199	58	141
西淀川区	206	88	118	西成区	103	44	59
淀川区	463	224	239				

(大阪市「税務統計」「大阪市統計書」2019年度)

(注) 2019年度分の調定額。市税決算額〔法人分〕は、法人市民税、法人純固定資産税、法人都市計画税、事業所税の合算値。中央区で一括計上されている「たばこ税」は、いずれにも含めていない。  
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-10. 製造業の区別事業所数・従業者数【2016年】

製造業の事業所を区別にみると、中小規模工場が集積する東部（生野区、平野区、東成区など）で多くなっています。一方、従業者数は、大規模工場が立地する淀川北岸部（淀川区、西淀川区）で多くなっています。

(単位:事業所、人)

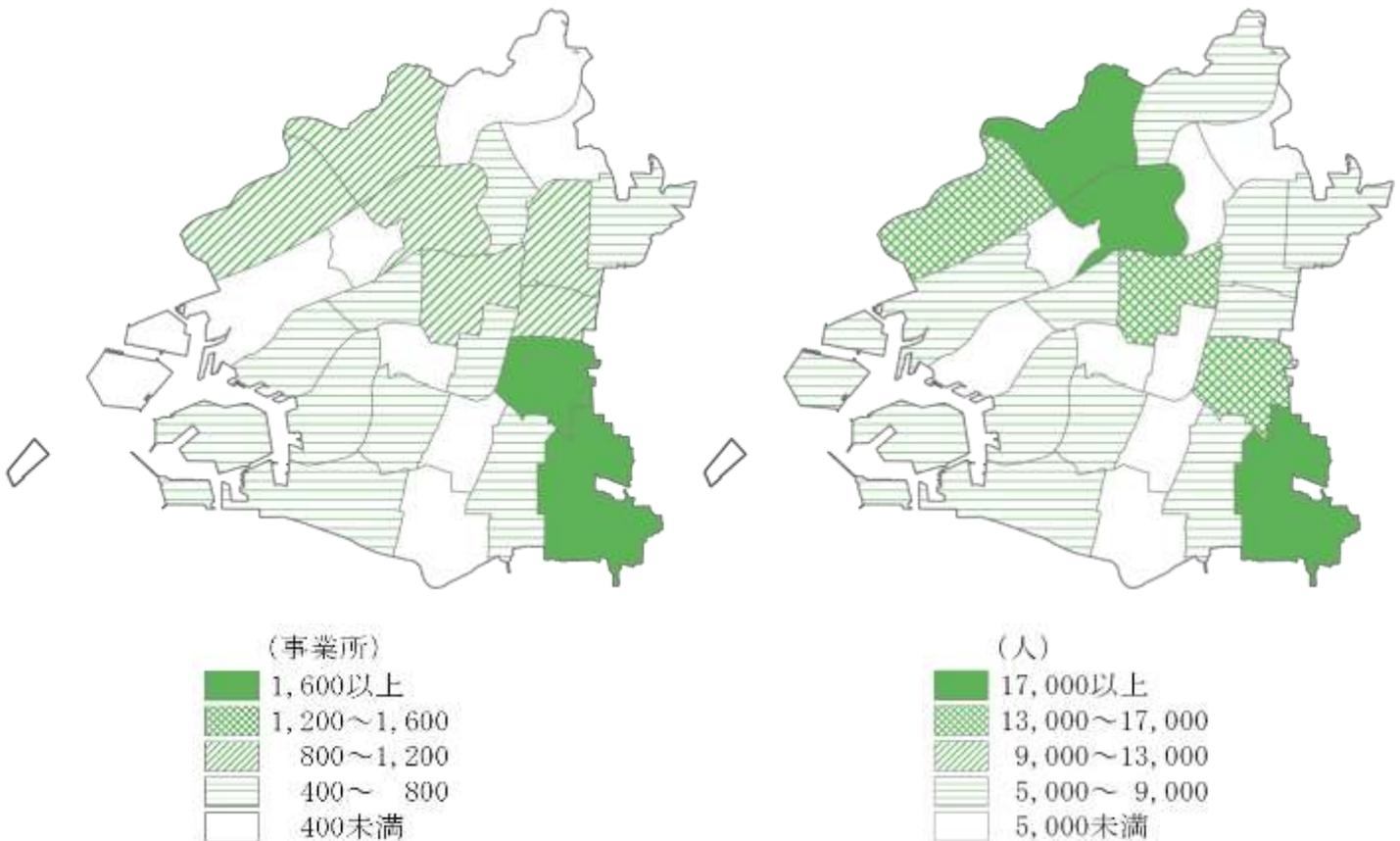
区名	事業所	従業者数	区名	事業所	従業者数
大阪市	16,574	199,334	東淀川区	343	7,162
北区	814	17,542	東成区	1,006	8,602
都島区	404	3,406	生野区	1,962	14,207
福島区	373	3,656	旭区	304	2,638
此花区	249	8,810	城東区	874	7,592
中央区	1,073	16,491	鶴見区	551	7,002
西区	705	6,160	阿倍野区	268	4,106
港区	523	3,572	住之江区	437	8,777
大正区	479	6,173	住吉区	220	1,685
天王寺区	459	4,106	東住吉区	701	6,326
浪速区	334	4,526	平野区	1,818	17,087
西淀川区	1,011	16,304	西成区	610	6,160
淀川区	1,056	17,244			

(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」)

(注) 各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

製造業 区別の事業所数(2016年)

製造業 区別の従業者数(2016年)



8-11. 製造品出荷額等の金額及び分野別構成比【2020年】

(単位:億円)

(単位:%)

区名	基礎素材型	加工組立型	生活関連型	合計	基礎素材型	加工組立型	生活関連型
大阪市	17,860	8,973	7,409	34,242	52.2	26.2	21.6
北区	511	455	427	1,393	36.7	32.6	30.6
都島区	87	40	180	307	28.4	13.0	58.6
福島区	104	44	150	298	34.8	14.7	50.5
此花区	3,146	1,155	109	4,410	71.3	26.2	2.5
中央区	173	59	552	784	22.1	7.5	70.3
西区	217	158	203	579	37.5	27.3	35.1
港区	245	132	667	1,043	23.4	12.6	63.9
大正区	2,107	423	180	2,710	77.7	15.6	6.7
天王寺区	15	25	187	227	6.5	10.9	82.5
浪速区	90	41	307	438	20.6	9.3	70.1
西淀川区	2,186	1,049	657	3,891	56.2	27.0	16.9
淀川区	1,574	1,468	394	3,437	45.8	42.7	11.5
東淀川区	1,079	222	393	1,693	63.7	13.1	23.2
東成区	465	263	341	1,069	43.5	24.6	31.9
生野区	1,332	260	490	2,082	64.0	12.5	23.5
旭区	139	42	80	261	53.4	15.9	30.7
城東区	586	209	420	1,215	48.2	17.2	34.6
鶴見区	1,418	228	188	1,834	77.3	12.4	10.3
阿倍野区	58	57	131	246	23.5	23.2	53.2
住之江区	850	1,683	476	3,010	28.3	55.9	15.8
住吉区	11	0	84	95	11.8	0.0	88.2
東住吉区	131	59	247	437	29.9	13.5	56.6
平野区	956	648	426	2,030	47.1	31.9	21.0
西成区	382	254	118	754	50.7	33.7	15.7

(総務省・経済産業省「2021年経済センサス-活動調査」)

(注)1. 各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

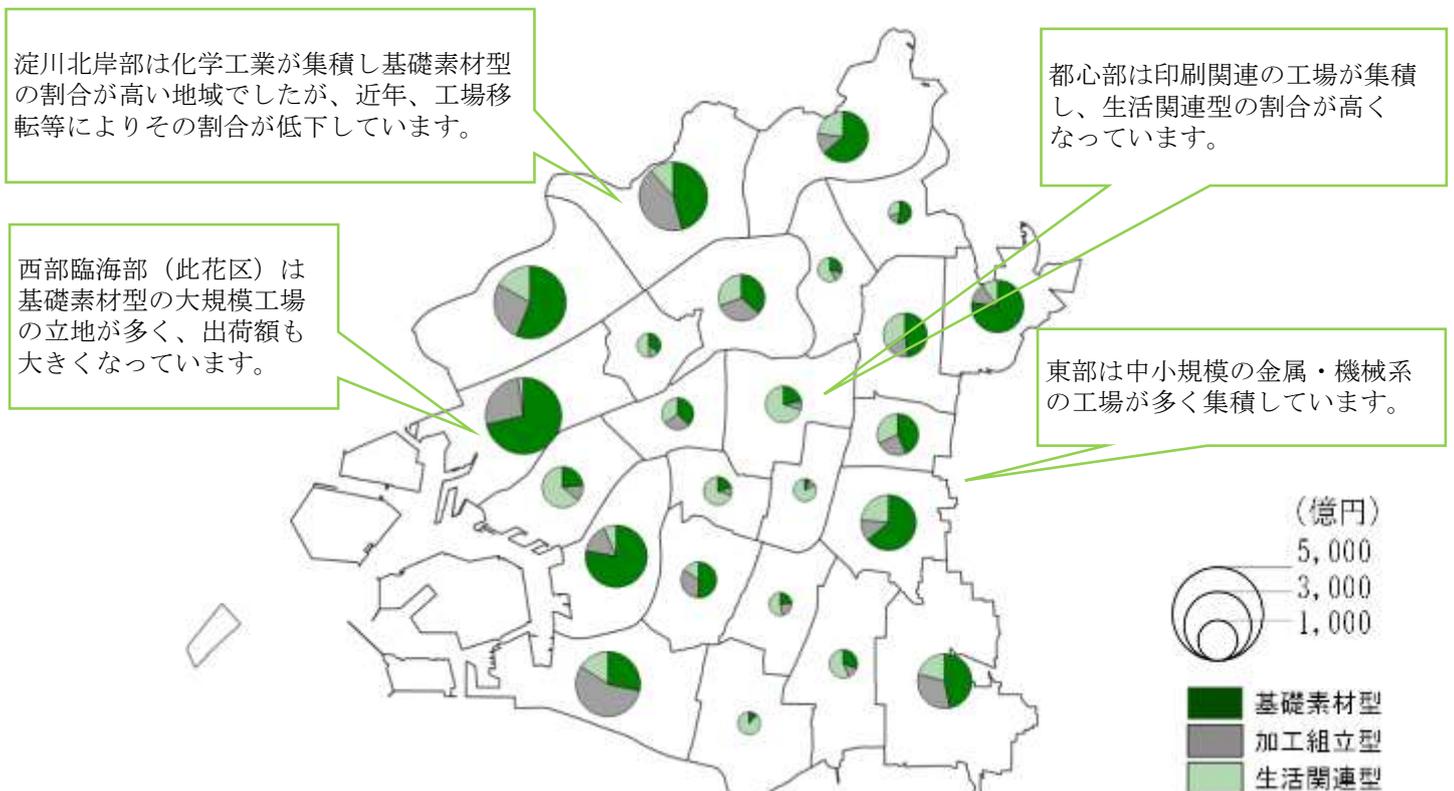
2. 対象は従業者数4人以上の事業所。 3. 2020年1月から12月までの値を使用する為、表題を2020年とした。

産業分類の詳細

<基礎素材型>木材・木製品、パルプ・紙・紙加工品、化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属、金属製品

<加工組立型>はん用機器、生産用機器、業務用機器、電子部品・デバイス・電子回路、電気機器、情報通信機器、輸送用機器

<生活関連型>食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維、家具・装備品、印刷・同関連、なめし革・毛皮、その他



8-12. 卸売業における事業所数等の地域別シェア【2016年】

卸売業における地域別シェアをみると、都心部のうち都心3区（中央区、北区、西区）に事業所数、従業者数、年間商品販売額が集中しています。

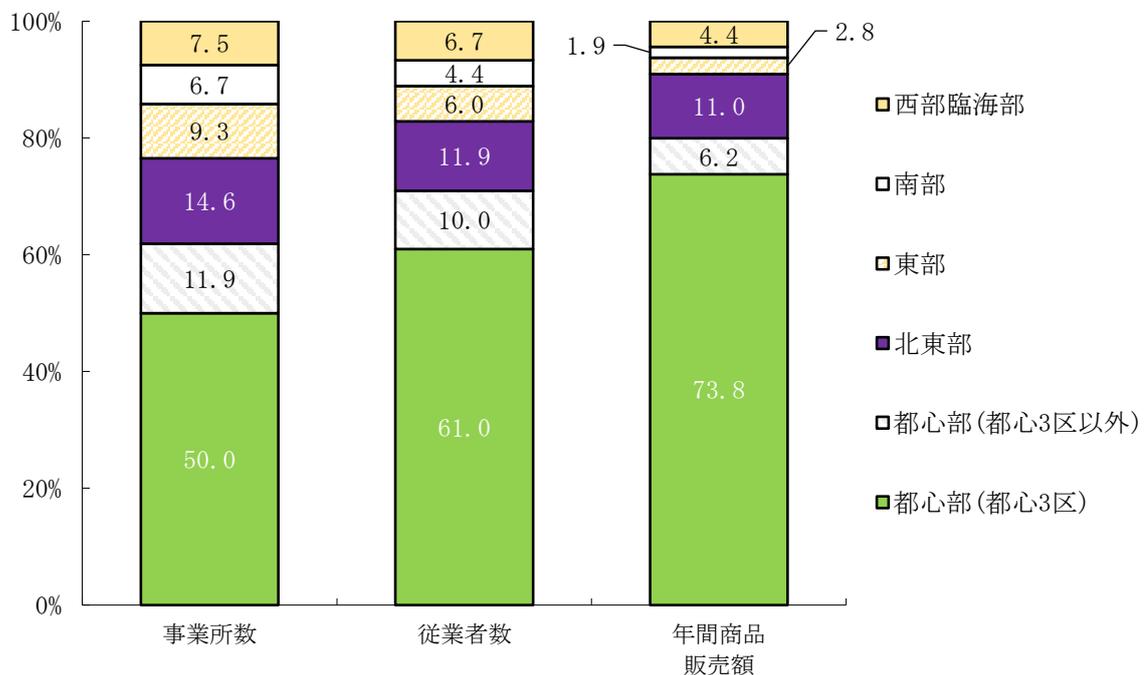
卸売業における事業所数・従業者数・年間販売額における地域別シェア（2016年）

（単位：カ所、人、百万円、%）

	事業所数	従業者数	年間商品販売額	シェア			
				事業所数	従業者数	年間商品販売額	
大阪市合計	22,668	322,147	36,985,516	100.0	100.0	100.0	
都心部	北区	2,794	52,679	10,342,547	50.0	61.0	73.8
	中央区	6,099	104,930	12,929,119			
	西区	2,433	38,822	4,012,712			
	天王寺区	644	5,931	308,543			
	福島区	1,033	14,142	1,182,310			
	浪速区	1,028	12,058	787,230			
北東部	都島区	390	2,982	148,561	14.6	11.9	11.0
	淀川区	2,071	26,726	3,351,167			
	東淀川区	385	4,313	322,680			
	旭区	218	1,940	84,808			
	鶴見区	247	2,435	166,102			
東部	城東区	437	4,012	240,738	9.3	6.0	2.8
	東成区	588	6,346	393,882			
	生野区	579	3,627	141,866			
	平野区	501	5,274	247,456			
南部	阿倍野区	372	4,317	144,901	6.7	4.4	1.9
	住吉区	297	2,124	68,292			
	東住吉区	543	5,272	344,281			
	西成区	313	2,580	145,364			
西部臨海部	西淀川区	397	5,499	373,908	7.5	6.7	4.4
	此花区	179	2,180	281,289			
	港区	369	3,044	194,772			
	大正区	277	2,272	117,482			
	住之江区	474	8,642	655,509			

（総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」）

（注）事業所数と従業者数は2016年6月1日現在（経済センサス活動調査の産業横断的集計）  
 年間商品販売額は2015年の数値（経済センサス活動調査の産業別集計）  
 地域分類は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



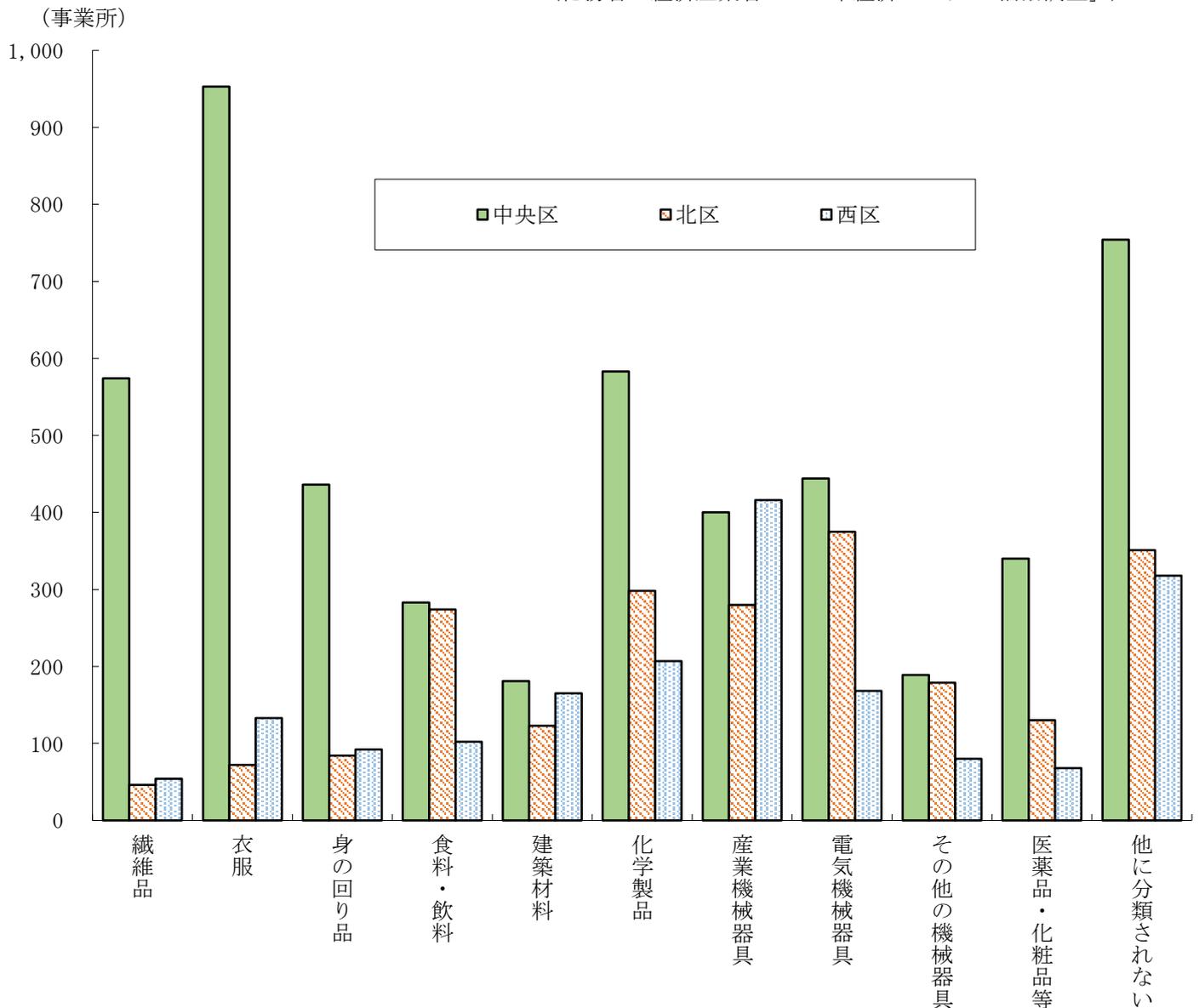
8-1-3. 都心3区における商品(卸売)別の事業所数【2016年】

都心3区(北区、中央区、西区)における商品(卸売)別の事業所数を比較してみると、中央区は繊維品、衣服、身の回り品、化学製品、医薬品・化粧品等で突出して多くなっています。北区は食料・飲料、電気機械器具が多く、西区は産業機械器具が多くなっています。

(単位：事業所)

産業(小分類)	中央区	北区	西区
繊維品	574	46	54
衣服	953	72	133
身の回り品	436	84	92
食料・飲料	283	274	102
建築材料	181	123	165
化学製品	583	298	207
産業機械器具	400	280	416
電気機械器具	444	375	168
その他の機械器具	189	179	80
医薬品・化粧品等	340	130	68
他に分類されない	754	351	318

(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」)



(注) 商品分類のうち、各種商品卸売業、農畜産物・水産物、石油・鉱物、鉄鋼製品、非鉄金属、再生資源、自動車、家具・建具・じゅう器、紙・紙製品を除いて作成。管理補助的経済活動を行う事業所は含まない。

8-14. 小売業における産業中分類別事業所数(地域別)【2016年】

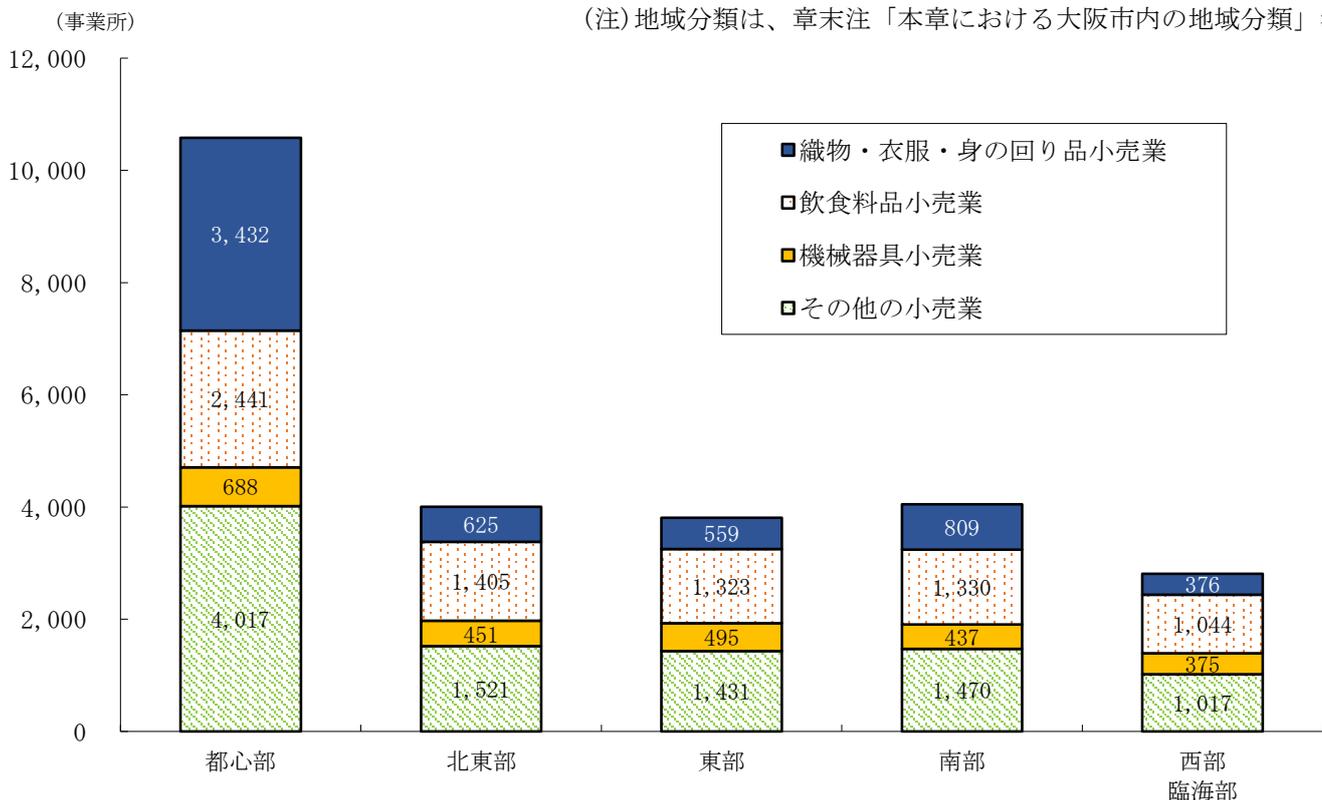
小売業について、地域別事業所数を業種別にみると、織物・衣服・身の回り品小売業及びその他の小売業(医薬品・化粧品、書籍、スポーツ用品、がん具など)は、交通便利性の高い都心部に集中しています。飲食料品小売業や機械器具小売業は地域間の差はあまりみられません。

(単位：事業所)

		織物・衣服・身の回り品小売業	飲食料品小売業	機械器具小売業	その他の小売業
大阪市合計		5,801	7,543	2,446	9,456
都心部	北区	1,359	808	152	1,324
	中央区	1,323	738	157	1,347
	西区	224	255	87	350
	天王寺区	283	254	67	391
	福島区	71	197	61	220
	浪速区	172	189	164	385
北東部	都島区	167	205	78	329
	淀川区	134	487	112	442
	東淀川区	81	293	96	269
	旭区	113	225	71	245
	鶴見区	130	195	94	236
東部	城東区	90	247	101	304
	東成区	163	240	88	264
	生野区	165	442	146	453
	平野区	141	394	160	410
南部	阿倍野区	373	361	84	421
	住吉区	125	273	105	347
	東住吉区	152	326	130	330
	西成区	159	370	118	372
西部臨海部	西淀川区	44	181	74	173
	此花区	46	158	50	135
	港区	74	221	78	218
	大正区	75	185	55	188
	住之江区	137	299	118	303

(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」)

(注) 地域分類は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

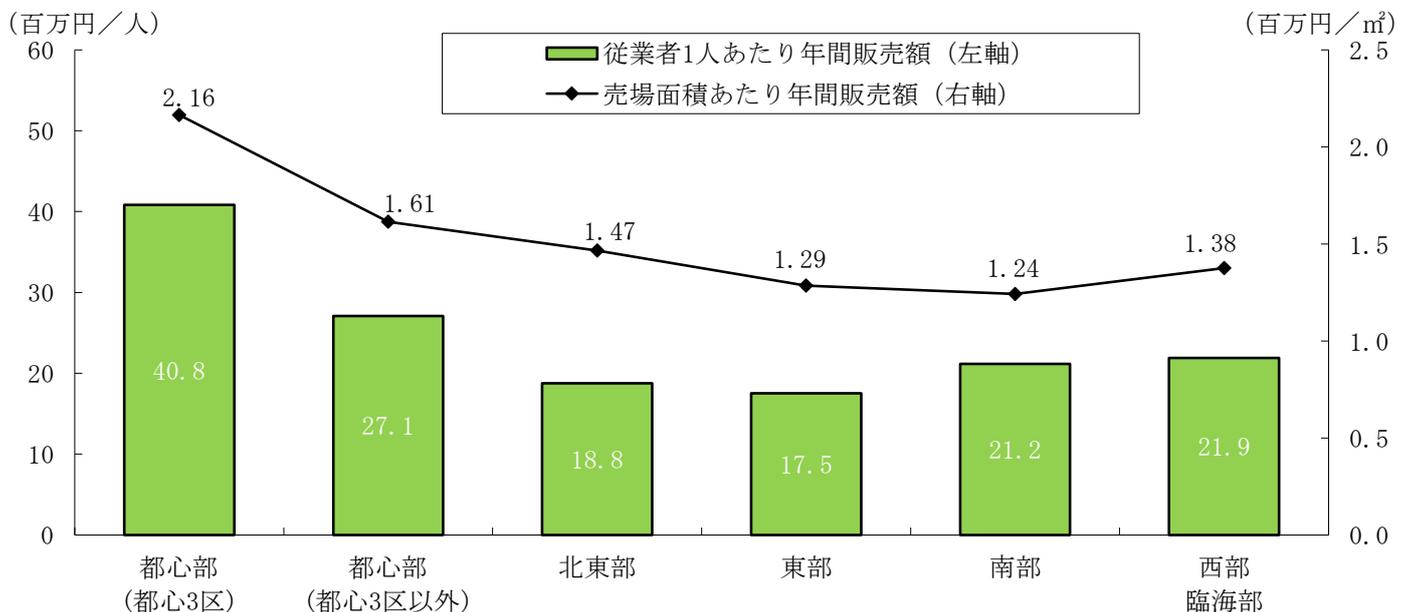


8-15. 小売業の従業者1人当たり年間販売額及び売場効率(地域別)【2016年】

小売業について、従業者一人あたりの年間販売額と売場効率(売場面積あたりの年間販売額)を地域別に比較すると、都心部で販売額・効率ともに高くなっている一方で、それ以外の地域では、大きな差はみられません。

		(単位：人、百万円、㎡)			(単位：百万円)		
		従業者数	年間商品販売額	売場面積	従業者1人あたり年間販売額	売場面積1㎡あたり年間販売額	
大阪市		163,634	4,578,156	2,682,655	28.0	1.71	
都心部	北区	28,137	1,244,732	533,948	44.2	2.33	2.16
	中央区	23,681	927,331	469,295	39.2	1.98	
	西区	6,388	204,629	94,614	32.0	2.16	
	天王寺区	6,689	132,954	100,895	19.9	1.32	1.61
	福島区	3,766	82,809	43,228	22.0	1.92	
	浪速区	6,453	242,306	139,596	37.5	1.74	
北東部	都島区	5,407	115,371	85,155	21.3	1.35	1.47
	淀川区	9,275	169,199	83,442	18.2	2.03	
	東淀川区	5,338	100,290	74,909	18.8	1.34	
	旭区	3,620	52,979	37,260	14.6	1.42	
	鶴見区	4,599	92,053	80,566	20.0	1.14	
東部	城東区	5,057	87,851	75,934	17.4	1.16	1.29
	東成区	3,253	54,204	35,438	16.7	1.53	
	生野区	4,855	79,527	47,052	16.4	1.69	
	平野区	7,269	136,631	120,216	18.8	1.14	
南部	阿倍野区	8,997	236,463	218,126	26.3	1.08	1.24
	住吉区	5,175	85,522	52,935	16.5	1.62	
	東住吉区	4,630	86,380	48,049	18.7	1.80	
	西成区	4,993	95,457	86,453	19.1	1.10	
西部臨海部	西淀川区	3,193	68,798	45,648	21.5	1.51	1.38
	此花区	2,102	57,548	27,336	27.4	2.11	
	港区	3,272	66,282	36,566	20.3	1.81	
	大正区	2,497	48,844	48,845	19.6	1.00	
	住之江区	4,988	109,999	97,149	22.1	1.13	

(注) 従業者数は2016年6月1日現在、販売額は2015年の数値。(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」)  
地域分類は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-16. 区別商店街数【2021年度】

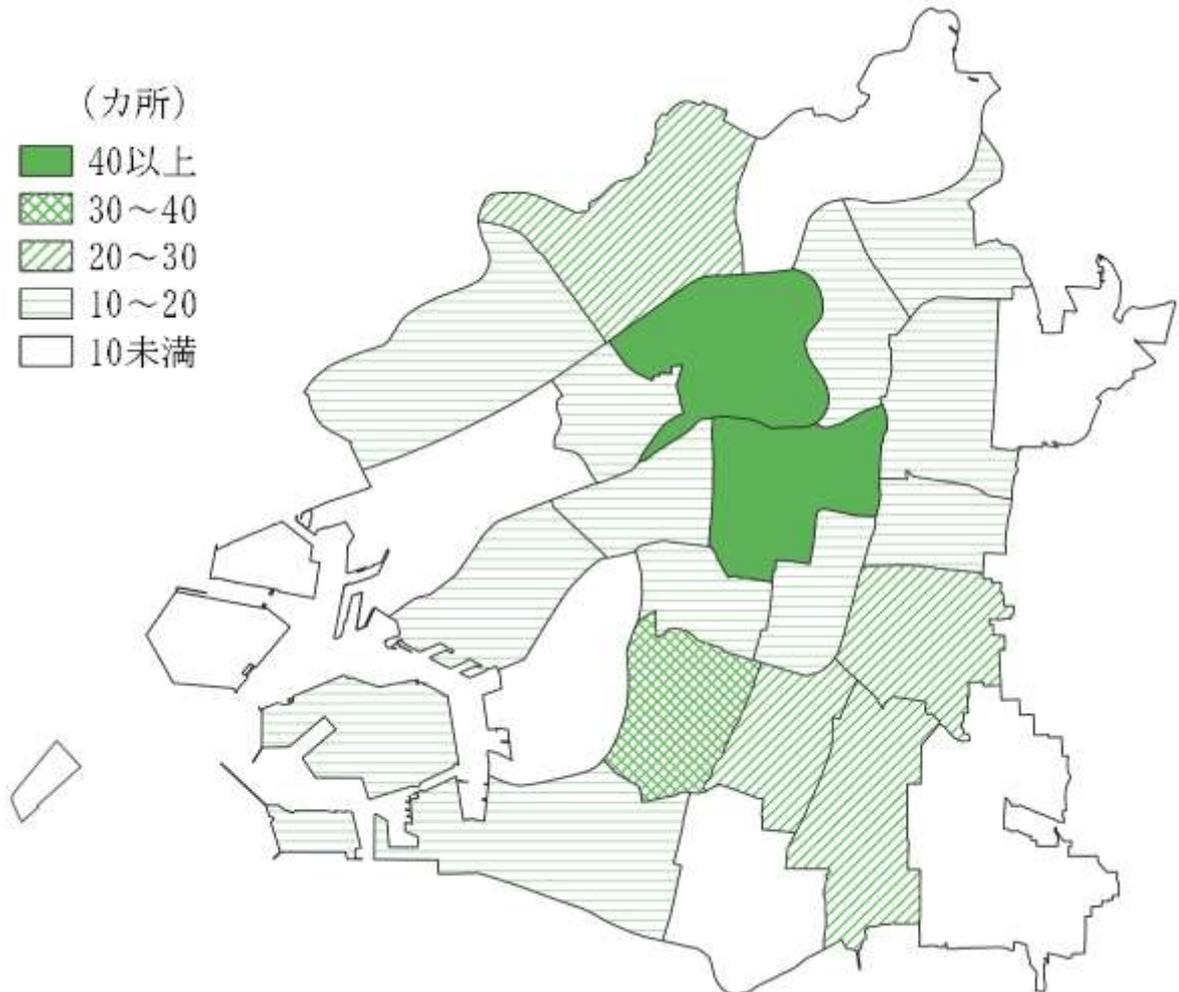
大阪市内の商店街数は2021年度末時点で413件となり、前年度末に比べて44件減少しています。区別にみると中央区・北区が同数で最も多く、次いで西成区、東住吉区の順となっています。全市のうち17区で商店街数が減少している中、都島区では4カ所増加、福島区、東住吉区でもそれぞれ1カ所増加と、商店街数が伸びている区もあります。

区名	商店街数	区名	商店街数
大阪市	413	東淀川区	8
北区	53	東成区	18
都島区	19	生野区	23
福島区	10	旭区	14
此花区	8	城東区	11
中央区	53	鶴見区	7
西区	12	阿倍野区	22
港区	10	住之江区	15
大正区	9	住吉区	9
天王寺区	12	東住吉区	25
浪速区	10	平野区	5
西淀川区	10	西成区	30
淀川区	20		

(単位：カ所)  
(大阪府資料)

(注)2021年度末の数字。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



8-17. ビジネス支援型サービス業の区別従業者数【2016年】

ビジネス支援型サービス業の従業者数について区別にみると、企業の本社等が集積する都心部（北区、中央区）で多くなっています。

(単位：人)

区名	情報サービス業	映像・音声・文字情報制作業	専門サービス業(他に分類されないもの)	広告業
大阪市	84,085	17,334	46,667	11,816
北区	25,968	7,893	14,851	5,489
中央区	28,304	4,033	17,840	2,161
天王寺区	274	433	1,400	465
福島区	2,352	603	631	262
西区	11,682	1,432	3,242	2,121
浪速区	1,457	1,068	693	165
都島区	337	552	488	51
淀川区	9,439	428	3,144	695
東淀川区	310	76	254	57
旭区	96	22	219	3
鶴見区	9	7	57	40
城東区	165	80	388	7
東成区	114	269	411	22
生野区	59	27	183	23
平野区	51	11	344	58
阿倍野区	126	43	812	43
住吉区	110	168	303	27
東住吉区	40	50	346	16
西成区	13	46	115	25
西淀川区	410	42	157	47
此花区	786	5	72	-
港区	1,203	20	128	39
大正区	33	10	39	-
住之江区	747	16	550	-

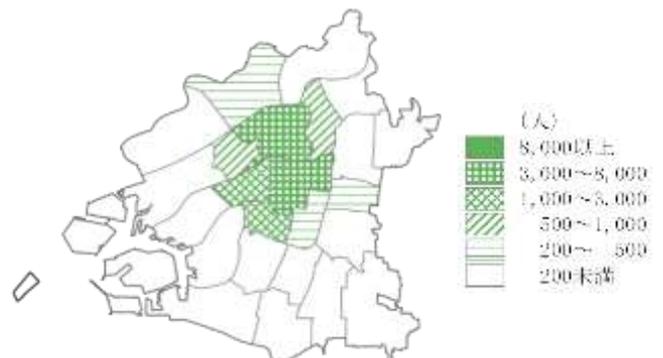
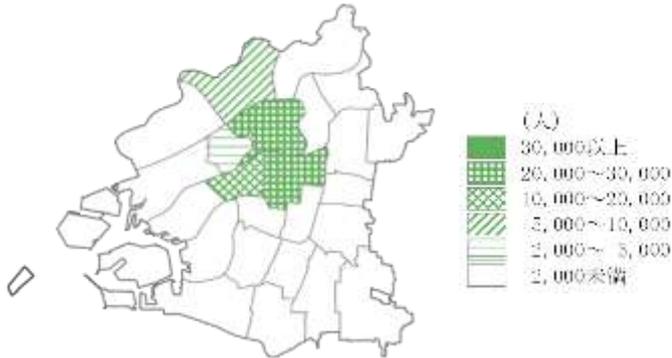
(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」)

(注) サービス業の範囲については、章末注「本章におけるサービス業の分類と定義」参照。

各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

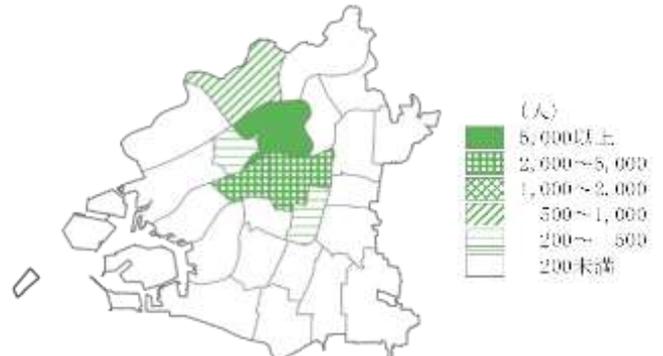
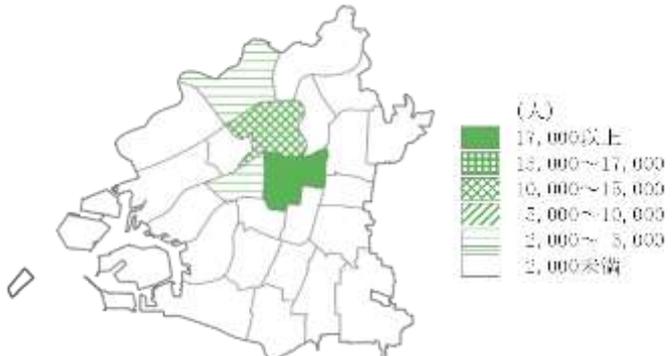
情報サービス業の区別従業者数

映像・音声・文字情報制作業の区別従業者数



専門サービス業の区別従業者数

広告業の区別従業者数



8-18. 生活支援型サービス業の区別従業者数(人口100人当たり)【2016年】

生活支援型サービス業について区別にみると、娯楽業などの一部の業種を除いて、都心部に集中せず概ね市域全体で事業展開している点がビジネス支援型サービス業と異なっています。娯楽業は都心部に加えて、大型テーマパークが立地する此花区の従業者数が多くなっています。

(単位：人)

区名	医療業	社会保険・社会福祉・介護事業	娯楽業	飲食店	人口
大阪市	4.26	3.08	1.05	6.59	2,702,033
北区	9.43	3.36	3.57	38.13	125,983
中央区	9.06	5.04	5.43	40.69	95,457
天王寺区	9.41	2.91	1.04	10.05	77,290
福島区	5.85	2.34	0.60	5.81	73,352
西区	5.86	2.16	0.47	7.41	95,522
浪速区	4.41	2.50	2.17	7.84	71,001
都島区	3.43	2.16	0.80	5.99	105,779
淀川区	2.88	2.30	0.65	5.36	177,868
東淀川区	2.51	2.60	0.38	2.06	175,631
旭区	3.09	3.53	0.15	2.02	91,458
鶴見区	2.80	2.30	0.28	2.62	111,575
城東区	3.82	2.28	0.36	2.02	165,360
東成区	5.62	3.23	0.72	2.70	80,733
生野区	3.82	3.73	0.20	2.45	129,838
平野区	2.50	3.41	0.39	2.09	195,755
阿倍野区	5.50	3.69	0.77	6.82	108,193
住吉区	4.54	3.43	0.37	2.11	153,869
東住吉区	3.74	4.36	0.26	2.38	126,231
西成区	3.23	4.63	0.55	3.44	110,925
西淀川区	3.30	2.87	0.26	1.73	95,374
此花区	2.70	2.04	6.88	3.69	66,421
港区	3.04	3.12	0.67	2.94	81,551
大正区	3.36	3.04	0.18	2.77	64,672
住之江区	3.01	2.65	1.99	2.96	122,195

(総務省・経済産業省「2016年経済センサス-活動調査」、大阪市「推計人口」)

(注)人口は2016年10月1日現在。サービス業の範囲については、章末注「本章におけるサービス業の分類と定義」参照。

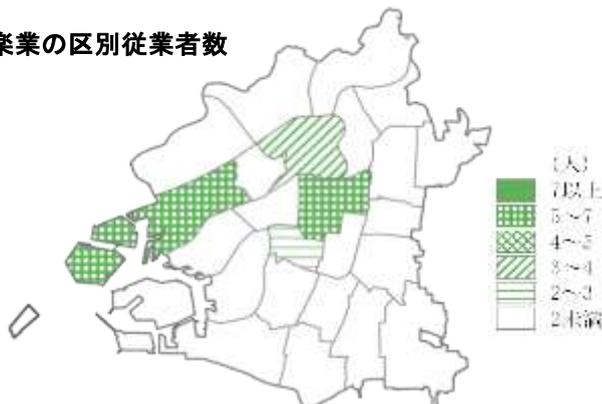
各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。

社会保険・社会福祉・介護事業の区別従業者数

医療業の区別従業者数



娯楽業の区別従業者数



飲食店の区別従業者数



8-19. ホテル・旅館等及び民泊施設の区別立地状況【2022年】

大阪市内のホテル・旅館等は、交通の利便性が高く商業施設が多く立地する中央区、北区、浪速区に多く所在しています。本年度、都島区、中央区、浪速区、東成区では減少しましたが、西成区や福島区、港区では増加となりました。

民泊施設は浪速区、中央区、西成区に比較的多く所在しています。増減を見ると中央区、西成区では大幅に減少した半面、浪速区では増加となりました。

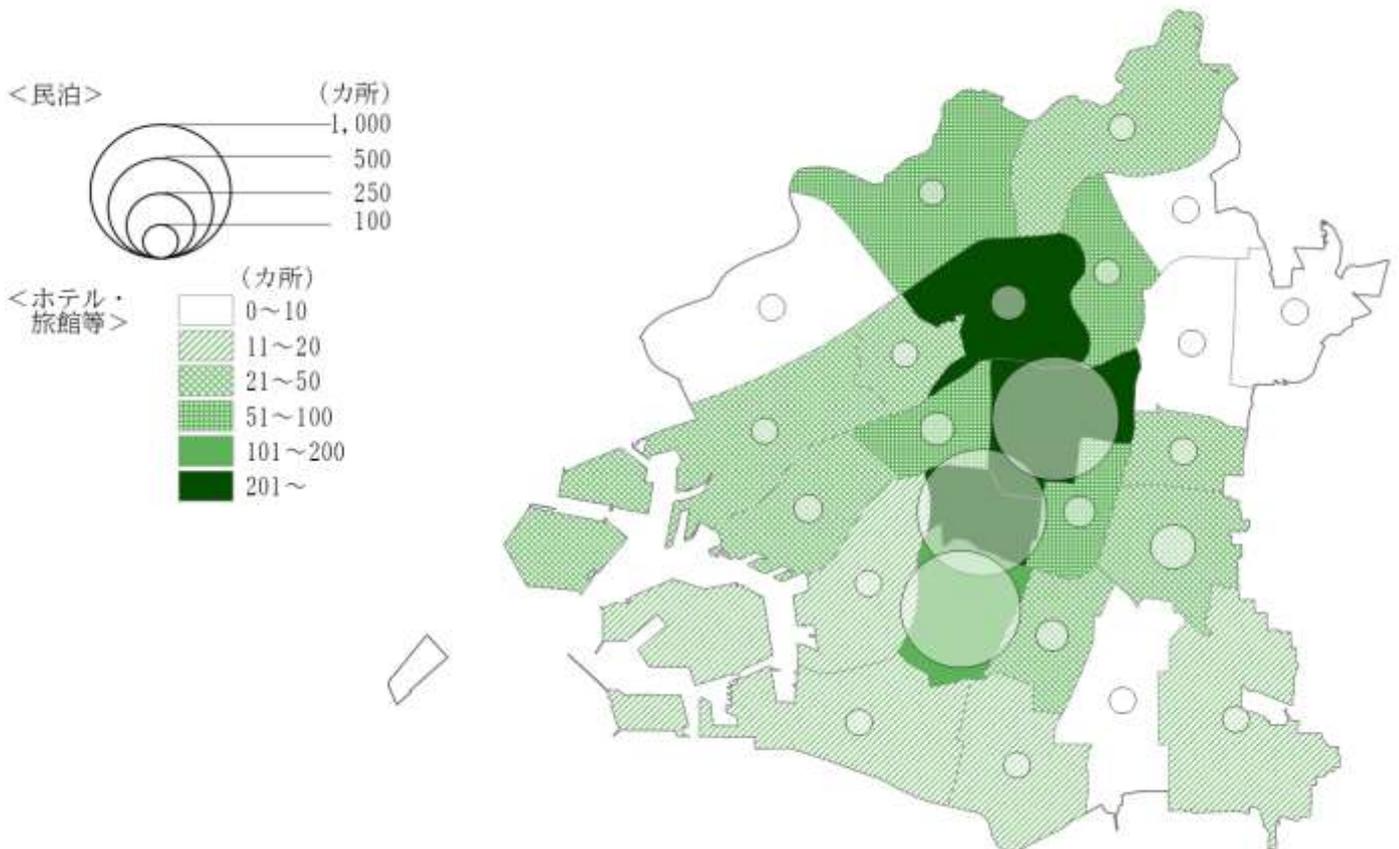
(単位：カ所)

区名	ホテル・旅館等	民泊
大阪市全体	1,693	4,775
北区	232	173
都島区	63	90
福島区	25	70
此花区	40	84
中央区	477	942
西区	61	165
港区	31	131
大正区	17	55
天王寺区	95	152
浪速区	211	971
西淀川区	7	53
淀川区	90	113

区名	ホテル・旅館等	民泊
東淀川区	23	115
東成区	35	126
生野区	47	241
旭区	3	70
城東区	10	64
鶴見区	1	1
阿倍野区	25	152
住之江区	13	59
住吉区	11	36
東住吉区	7	23
平野区	12	15
西成区	157	874

(大阪市ホームページ「旅館業施設一覧」「特区民泊施設一覧」、「住宅宿泊事業法に基づく届出住宅一覧」2022年12月31日現在)

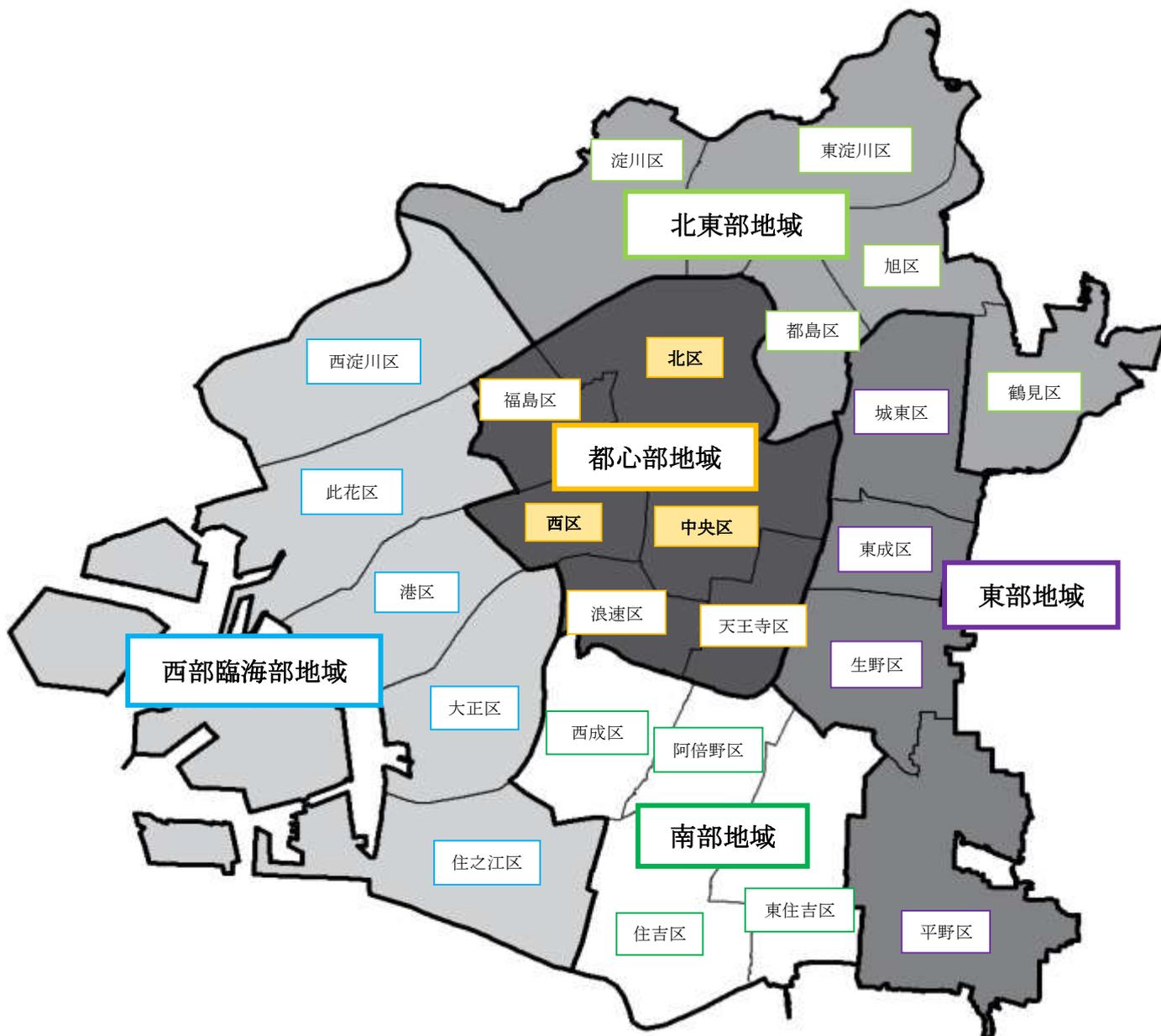
(注) ホテル・旅館等は旅館業法の許可を受けた施設、民泊施設は国家戦略特別区域法に基づく外国人滞在施設経営事業(特区民泊)の認定を受けた施設、及び住宅宿泊事業法に基づく届出を行った施設。各区の位置関係は、章末注「本章における大阪市内の地域分類」参照。



【章末注】本章における大阪市内の地域分類

本章における大阪市内の地域分類は、特に断りのない限り、下図の分類による。  
また、都心部のうち、北区、中央区、西区を都心3区とする

図：大阪市内地域分類



## 【章末注】本章におけるサービス業の分類と定義

本章8-17の「ビジネス支援型サービス業」及び8-18の「生活支援型サービス業」は「経済センサスー活動調査」の分類に基づき下表の通りとした。

	大分類項目	中分類項目
ビジネス支援型サービス業	G 情報通信業	39 情報サービス業
		41 映像・音声・文字情報制作業
	L 学術研究, 専門・技術サービス業	72 専門サービス業
		73 広告業
生活支援型サービス業	M 宿泊業、飲食サービス業	76 飲食店
	N 生活関連サービス業, 娯楽業	80 娯楽業
	P 医療、福祉	83 医療業
		85 社会保険、社会福祉・介護事業